
アッセンブリー「各委員長活動方針・計画説明 ②」

【職業奉仕委員会】 一瀬 博 委員長

1. 方 針

ロータリーの真髄である奉仕の精神を念頭に、職場訪問または各卓話、会員間の情報交換等によりスキルアップし、職場改善および地域社会への貢献を目指す。

2. 活動計画

- (1)「四つのテスト」を毎月、第一例会時に唱和する。
- (2)「職場訪問」を実施する。(訪問先は未定)
- (3)「その道ひとすじの顕彰」を行う。(実施するかどうか委員会にて検討する。)
- (4)「唐八景公園の清掃」社会奉仕委員会と共に協力し実施する。
- (5)「被爆者歌う会ひまわり」の活動を支援する。

3. 予 算 200,000 円

【社会奉仕委員会】 藤本 昭広 委員長

1. 方 針

奉仕活動は身体を動かし、参加することこそ意義があります。委員同士が協力して、一人でも多くの参加を呼びかけ、社会奉仕活動を実践していきたい。

2. 活動計画

- (1)清掃・奉仕活動:
 - 唐八景公園清掃(9月)
 - ハンドベルコンサート&サンタの集い企画(12月)
 - ながさきゆうゆう牧場体験会企画(11月)
- (2)セミナーほか:
 - 社会奉仕委員会セミナー参加(12月)
 - 東日本大震災などへの支援活動

3. 予 算 310,000 円

【国際奉仕・米山記念奨学委員会】 高田昌一郎 委員長

1. 方 針

<国際奉仕>

ロータリーの目的の一つである「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する」との理念に基づいて活動する。

<米山記念奨学>

留学生として来日する学生を手助けすることによって、日本に対する理解を深めてもらうとともに、会員が奨学生と交流し、その母国の事情に触れることによって相互の国際理解を推進する。

2. 活動計画

<国際奉仕>

- ①当クラブの新たな国際奉仕活動を検討する。
- ②その一環として他クラブの国際奉仕プログラムを研究し、場合によってはそれに協力する。
- ③ロータリーの国際奉仕に関する理解を深める機会を会員に提供する。
- ④海外で災害が発生した時などの支援を検討し、実施する。

<米山記念奨学>

- ①会員に米山記念奨学事業に関する理解を深めて頂くためのフォーラムを開催する(10月米山月間)。
- ②他クラブがホストクラブとなっている米山記念奨学生を招いて卓話をしてもらう。
- ③一人当たり寄付1万円、米山功労者最低3名を目標として募金をお願いする。

3. 予 算 60,000 円

【ロータリー財団委員会】 小宮 裕之 委員長

1. 方 針

ロータリー財団は会員様の寄付で成り立っています。本年度も皆様の善意をお願い致します。

2. 活動計画

(1)ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターの確保および増員に努めます。1人当たり150ドルを目標にしております。(月1人¥1,500程度)

また頼母子講の形式で寄付をお願いし、約12人程度の方にポール・ハリス・フェローになって頂きます。

(2)ポリオプラス寄付金の目標を1,500ドルと致します。(中央ロータリーで¥186,000程度)

3. 予 算 15,000 円

【青少年奉仕・インターアクト委員会】 劉 済文 委員長

1. 方 針

今年度は青少年奉仕委員会とインターアクト委員会が一つにまとめられましたが、インターアクトも青少年奉仕の一環と考え、取り組んでいこうと思います。

青少年奉仕はインターアクトクラブ活動を含め、会員と青少年との交流活動ならびに青少年奉仕活動への理解を深めます。また前年度に提唱されたインターアクトクラブについては、より多くのロータリー会員のインターアクト例会への参加をお願いし、より一層の理解を求めていきます。インターアクトクラブ活動においても、国際的な奉仕活動ができないか、インターアクターと話し合いをしながら模索していきます。

2. 活動計画

(1)ロータリーサンタ訪問(ハンドベル演奏、幼稚園児の演奏、インターアクターの参加)

(2)剣道大会への協賛

(3)ライラ(RYLA)への参加

(4)月一度のインターアクト例会への参加(全会員への参加呼びかけ)

(5)インターアクト年次大会への参加(8/1~2)

(6)当クラブの奉仕活動へのインターアクターの参加を呼び掛ける。

(7)インターアクト前・後期指導者セミナーへの参加

(8)地区大会「青少年の集い」へのインターアクターの参加要請。

3. 予 算 741,000 円